

## 育苗後期～定植までの管理について

JA今金 農業経営課  
北海道糖業(株) 道南製糖所 原料課

### 1. 育苗管理

- (1) 育苗後期は苗が乾き過ぎないように灌水する（過乾燥になると苗枯病や紙筒分離不良の要因、過湿になると苗の徒長、斑点細菌病発生の助長となるので注意する）。  
※ペーパーポット分離障害を防ぐために育苗期間を通じ、ポットが乾燥しないように気を付けましょう。
- (2) 苗は定植7～10日前頃より
- ① 苗を外に出す
  - ② ハウスのビニールをはく等の手段で外気に十分に慣らしてください（ハードニング）。  
（ハードニング中に苗が凍結した場合、シート等で日陰を作り自然乾燥させる）  
また、リボルタは抽苔軽減のため、苗を外に出してのハードニングは控えてください。
- (3) 斑点細菌病の発生が見られたら、下記の通り早急に防除を実施してください。

<1ha（60冊）当り>

| 薬 剤 名  | 散布方法  | 倍率   | 薬量    | 水量 | 総使用回数         | 備 考          |
|--|-------|------|-------|----|---------------|--------------|
| 加シホ ルド <sup>®</sup> -又は<br>カッパ <sup>®</sup> -ツ水中和剤 | 噴霧器使用 | 800倍 | 3.75g | 3ℓ | 5回<br>※圃場使用含む | 散布水量：50ml/1冊 |

### 2. 定植前の苗床灌水

灌水は定植3日前から（全自動移植機の場合は4日前）20～30ℓ/冊の灌水を数回に分けて（時間をかけて）実施後、定植前日か直前に下記の要領で薬剤処理を実施してください。

<10a（6冊）当り>

|          | 適 用         | 薬 剤         | 薬量    | 倍率   | 水量 | 備 考                |
|----------|-------------|-------------|-------|------|----|--------------------|
| 定植<br>前日 | 殺虫剤<br>(選択) | ダントツ水溶剤     | 30g   | 200倍 | 6ℓ | いずれか1剤を使用し<br>て下さい |
|          |             | アクタラ顆粒水溶剤   | 60g   | 100倍 |    |                    |
|          | 根腐病         | モンセレン顆粒水中和剤 | 30g   | 200倍 |    |                    |
|          | 弁当肥え        | 北糖 液肥       | 170ml | 35倍  |    |                    |

注1) 灌水後は必ず、6冊当り1ℓの水で水洗いする（薬害防止）。

注2) 薬剤使用の際は必ず散布器具を十分に洗浄してください。

### 3. 定植時の注意点

- (1) 苗の鎮圧は活着を早めるため実施する。
- (2) 定植は風害予防のため浅植えにしない。
- (3) 定植予定日の翌日に低温（最低気温が－5度以下）が予想される時は、定植を中止する。

### 4. 排水対策

生育初期の湿害は、著しい生育停滞を招きます。  
明渠・暗渠の点検及びブラソイラの施行、又、定植後速やかに畦間サブソイラまたは深耕カルチ  
チを実施してください。